

# 様々な機能を活用してみましょう

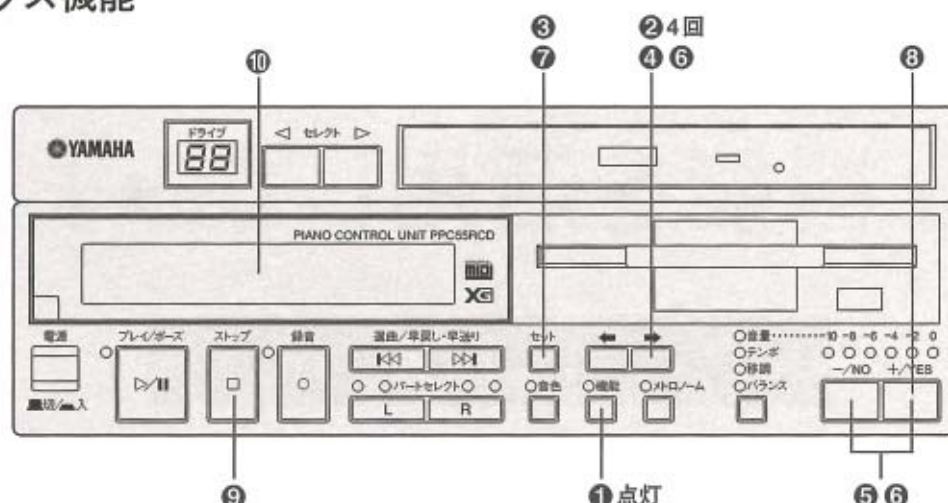
## 4：編集

この章では、録音後に活用できる便利な編集機能をご紹介します。  
トラックごとに、あるいは曲やディスクごとに多彩な編集がおこなえ、  
効率良く曲やディスクを管理できるようになります。

●2つのトラックのデータを1つにまとめる(トラックミックス) .....	P106
●あるトラックのデータを別のトラックに移す(トラック移動) .....	P108
●あるトラックのデータを別のトラックにコピーする(トラックコピー) .....	P110
●いないトラックのデータを消す(トラック消去) .....	P112
●トラックのデータを移調する(トラック移調) .....	P114
●いない曲を消去する(曲消去) .....	P116
●メモリディスクの曲を複製する(曲コピー) .....	P118
●フロッピーの曲を複製する(曲コピー) .....	P120
●録音した曲を好きな順番に並び替える(曲並び替え) .....	P122
●1個のメモリディスク全体をコピーする(ディスクコピー) .....	P124
●フロッピー全体をコピーする(ディスクコピー) .....	P126
●曲の録音タイプ(メトロノーム録音⇄時間録音)を変更する(カウンター変更) .....	P128
●曲のフォーマット(E-SEQ⇄SMF)を変更する(曲フォーマット変換) .....	P130
●フロッピーのタイプ(E-SEQ⇄SMF)を変換して 別のフロッピーにコピーする(ディスクタイプ変換) .....	P132

## 2つのトラックのデータを1つにまとめる

### ■トラックミックス機能



●2つのトラックのデータをミックスして、1つのトラック(2番目に選択したトラック)の中にまとめる機能です。ミックス後、最初に選択したトラックのデータは消去されます。

●1つ目のトラックの音符データ(ノート・オン/オフ)とペダルデータ(コントロールチェンジ)が、2番目に選択したトラックに重ね合わされます。

●メモリディスク/フロッピーともに操作は同じです。



●フロッピー内の曲のトラック編集中には、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

●プロテクトがオンになっているフロッピーはトラックミックスできません(P15参照)。

●E-SEQフォーマット曲でハーフペダルデータが記録されている場合、トラック3は選択できません。

●E-SEQフォーマット曲でピアノパートをそれ以外のパート(アンサンブルパート)へミックスしたり、アンサンブルパートをピアノパートへミックスした場合、ハーフペダルデータ(トラック3)は消去されます(ペダルのON/OFFデータは残ります)。

●違う曲番にトラックミックスすることはできません。

●「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」など市販E-SEQソフトのトラックミックスは行えません(メモリディスク内のコピーした曲については可能です)。



●曲を選び、停止中に操作します。

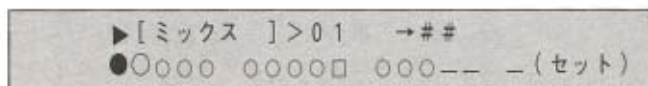
① [機能ボタン]を押します。



② [カーソルボタン<=>]を4回押して、下の画面を呼び出します。



③ 「▶トラック」と表示されていることを確認し、[セットボタン]を押します。



- ④ [カーソルボタン⇐]を押して項目を移動し、  
「▶01」と表示させます。

[ミックス] ▶01 →##  
●○○○ ○○○○ □○○○ — (セット)

- ⑤ まず1つ目のトラックを[－/NOボタン][+/YESボタン]を押して選びます。

[ミックス] ▶05 →##  
○○○● ○○○○ □○○○ — (セット)  
↑  
選択されたトラック(1つ目)

- ⑥ [カーソルボタン⇐]を押して項目を移動し、  
[－/NOボタン][+/YESボタン]を押して2つ目のトラックを選びます。

[ミックス] >05 ▶→06  
○○○● ●○○○ □○○○ — (セット)  
↑ ↑  
選択されたトラック(2つ目)

- ⑦ [セットボタン]を押します。

[ミックス] >05 →06 イイテスカ?  
○○○● ●○○○ □○○○ — (Y/N)

- ⑧ トラックミックスを実行する場合は[+/YESボタン]を押します。  
トラックミックスを実行しない場合は[－/NOボタン]を押した後、[ストップボタン]を2回押します。

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- ⑨ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホタンヲ オシテクタサイ

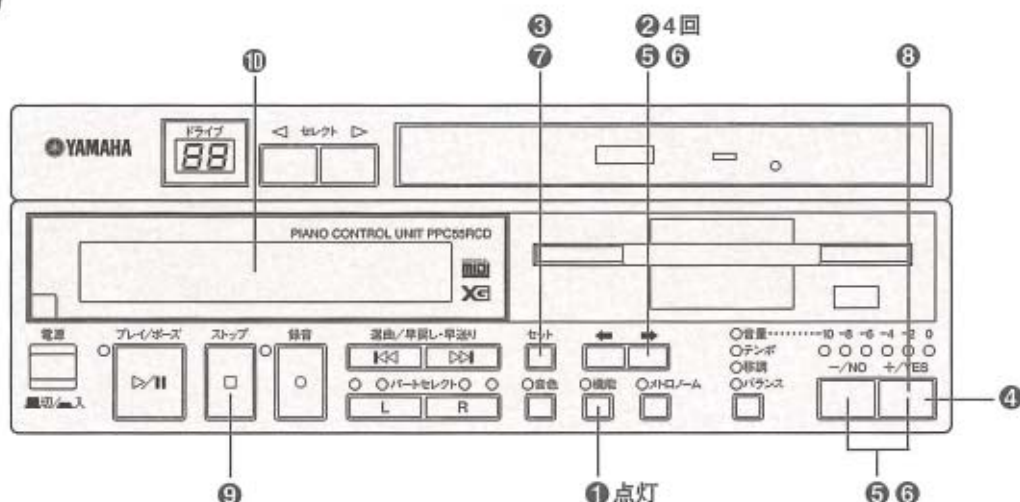
- ⑩ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○ (00:00)→  
S0 XG



# あるトラックのデータを別のトラックに移す

## ■トラック移動



- あるトラックのデータを別のトラックに移す機能です。
- 移動した後、元のトラックにあったデータと、移動先のトラックに元々入っていたデータは消去されます。
- メモリディスク/フロッピーともに操作は同じです。



- フロッピー内の曲のトラック編集中には、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはトラック移動できません (P15参照)。
- 音符データ (ノート・オン/オフ)、ペダルデータ (コントロールチェンジ) の他、音色番号、音量のデータも移動します。
- E-SEQフォーマット曲でハーフペダルデータが記録されている場合、トラック3は選択できません。
- E-SEQフォーマット曲でピアノパートをそれ以外のパート (アンサンブルパート) へ移動したり、アンサンブルパートをピアノパートへ移動した場合、ハーフペダルデータ (トラック3) は消去されます (ペダルの ON/OFF データは残ります)。
- リズムパート (10トラック) にも他のパートをトラック移動させることができます。その場合、音色の設定も含めて移動されます。
- 10トラックにドラム音色以外のパートを移動してサイレント状態で再生し、メトロノーム機能を使うと、そのトラックの音色は移動前の音色では再生されません。ドラム系の音色で再生されます。
- 違う曲番にトラック移動することはできません。



- 曲を選び、停止中に操作します。

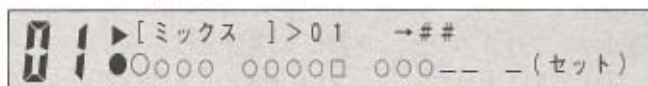
- ① [機能ボタン] を押します。



- ② [カーソルボタン ⇄] を4回押して、下の画面を呼び出します。



- ③ 「▶トラック」と表示されていることを確認し、[セットボタン] を押します。



- ④ [+ / YES ボタン] を押し、  
「▶[イトウ]」と表示させます。

01 ▶[イトウ] > 01 → ##  
●○○○ ○○○○ □○○○ — (セット)

- ⑤ [カーソルボタン⇐⇒] を押して項目を移し、  
[— / NO ボタン] [+ / YES ボタン] で移動するトラック  
を選びます。

01 [イトウ] ▶ 05 → ##  
○○○○ ●○○○ □○○○ — (セット)

↑                      ↑  
選択されたトラック      移動先のトラック

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒] を押して項目を移し、  
[— / NO ボタン] [+ / YES ボタン] で移動先のトラック  
を選びます。

01 [イトウ] > 05 ▶ → 06  
○○○○ ●○○○ □○○○ — (セット)

↑                      ↑  
移動先のトラック      移動先のトラック

- ⑦ [セットボタン] を押します。

01 [イトウ] > 05 → 06 イイデスカ?  
○○○○ ●○○○ □○○○ — (Y / N)

- ⑧ トラック移動を実行する場合は [+ / YES ボタン] を押  
します。  
トラック移動を実行しない場合は [— / NO ボタン] を押  
した後、[ストップボタン] を 2 回押します。

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が 2 行目に加  
わります。

- ⑨ 次の表示になったら [ストップボタン] を押します。

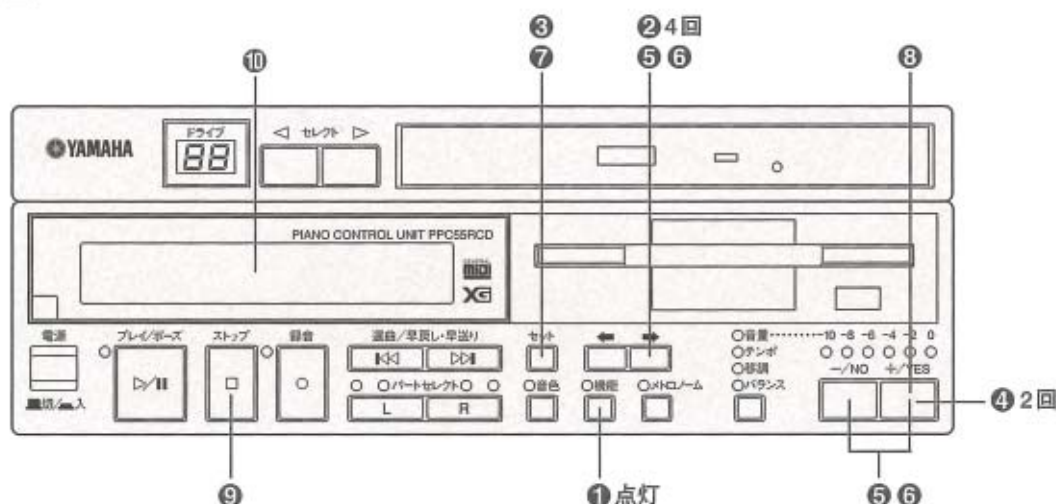
シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホタンヲ オシテクタサイ

- ⑩ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○ (00:00) →  
S O X G

# あるトラックのデータを別のトラックにコピーする

## ■トラックコピー



- トラック内のデータをコピーして、その曲の中に同じ演奏内容のトラックをもう1つ作る機能です。
- コピー先にデータが入っていた場合、そのデータは消去されます。
- コピー元のトラックのデータはそのまま残ります。
- メモリディスク/フロッピーとともに操作は同じです。



- フロッピー内の曲のトラック編集中には、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはトラックコピーできません (P15参照)。
- 音符データ (ノート・オン/オフ)、ペダルデータ (コントロールチェンジ) の他、音色番号、音量のデータもコピーされます。
- E-SEQフォーマット曲でハーフペダルデータが記録されている場合、トラック3は選択できません。
- E-SEQフォーマット曲でピアノ以外のパート (アンサンブルパート) をピアノパートへコピーした場合、ハーフペダルデータ (トラック3) は消去されます (ペダルの ON/OFF データは残ります)。
- リズムパート (トラック10) にも他のパートをトラックコピーすることができます。その場合、音色の設定も含めてコピーされます。
- サイレント時トラック10に他のパートをトラックコピーすると、音色設定もコピーされ、メトロノーム音がその音で発音します。
- 違う曲番にトラックコピーすることはできません。

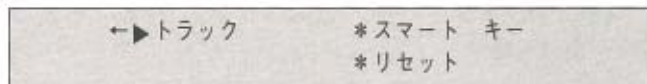


- 曲を選び、停止中に操作します。

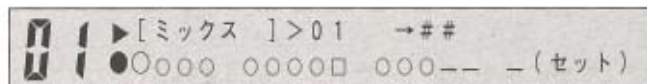
- ① [機能ボタン] を押します。



- ② [カーソルボタン ⇄] を4回押して、下の画面を呼び出します。



- ③ 「▶トラック」と表示されていることを確認し、[セットボタン] を押します。



- ④ [＋/YESボタン]を2回押し、  
「▶[コピー]」と表示させます。

01 ▶[コピ－] > 01 →##  
●○○○ ○○○○□ ○○○― ―(セット)

- ⑤ [カーソルボタン⇐⇒]を押して項目を移し、  
[－/NOボタン][＋/YESボタン]でコピーするトラッ  
クを選びます。

01 [コピ－] ▶05 →##  
○○○○● ○○○○□ ○○○― ―(セット)

↑  
選択されたトラック

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]を押して項目を移し、  
[－/NOボタン][＋/YESボタン]でコピー先のトラッ  
クを選びます。

01 [コピ－] > 05 ▶06  
○○○○● ○○○○□ ○○○― ―(セット)

↑  
コピー先のトラック

- ⑦ [セットボタン]を押します。

01 [コピ－] > 05 →06 イイデスカ?  
○○○○● ●○○○□ ○○○― ―(Y/N)

- ⑧ トラックコピーを実行する場合は[＋/YESボタン]を  
押します。  
トラックコピーを実行しない場合は[－/NOボタン]を  
押した後、[ストップボタン]を2回押します。

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加  
わります。

- ⑨ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホタンヲ オシテクタサイ

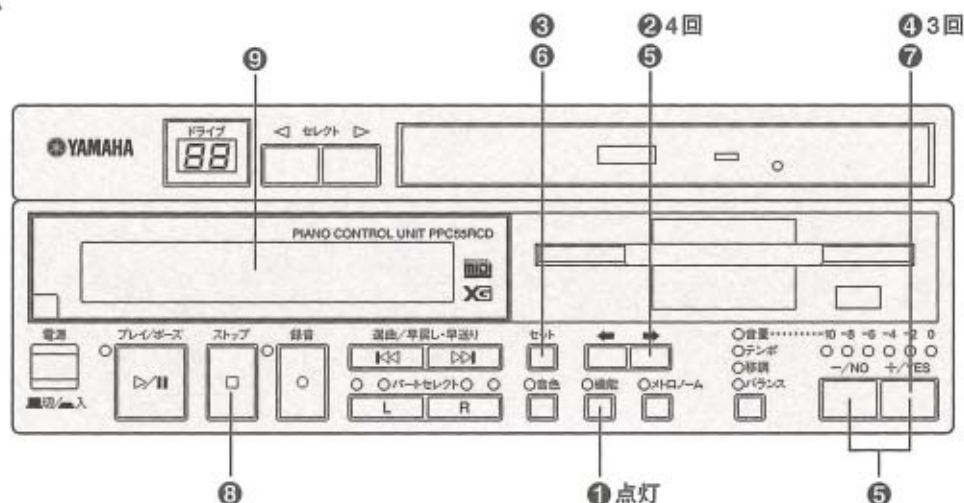
- ⑩ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○○ (00:00)→  
S0 XG



# いらないトラックのデータを消す

## ■トラック消去



●いらないトラックのデータを消す機能です。



- フロッピー内の曲のトラック編集中には、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはトラック消去できません (P15参照)。



●曲を選び、停止中に操作します。

① [機能ボタン]を押します。

▶ ティスク \*MIDI Setup →  
\*M-Tune \*サイレント

② [カーソルボタン⇄]を4回押して、下の画面を呼び出します。

←▶トラック \*スマートキー  
\*リセット

③ 「▶トラック」と表示されていることを確認し、[セットボタン]を押します。

▶ [ミックス] > 01 → ##  
●○○○○ ○○○○□ ○○○— — (セット)



- ④ [＋/YESボタン]を3回押し、  
「▶[ショウキヨ]」と表示させます。

01 ▶[ショウキヨ]>01  
●○○○ ○○○○ □○○○ — (セツト)

- ⑤ [カーソルボタン⇐⇒]を押して項目を移し、  
[－/NOボタン][＋/YESボタン]で消去するトラック  
を選びます。

01 [ショウキヨ]▶05  
○○○○● ○○○○ □○○○ — (セツト)  
↑ ↑  
選択されたトラック

- ⑥ [セツトボタン]を押します。

01 [ショウキヨ]>05 イイデ スカ?  
○○○○● ○○○○ □○○○ — (Y/N)

- ⑦ トラック消去を実行する場合は[＋/YESボタン]を押  
します。  
トラック消去を実行しない場合は[－/NOボタン]を押  
した後、[ストップボタン]を2回押します。

シ ッ コ ウ チ ュ ウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加  
わります。

- ⑧ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

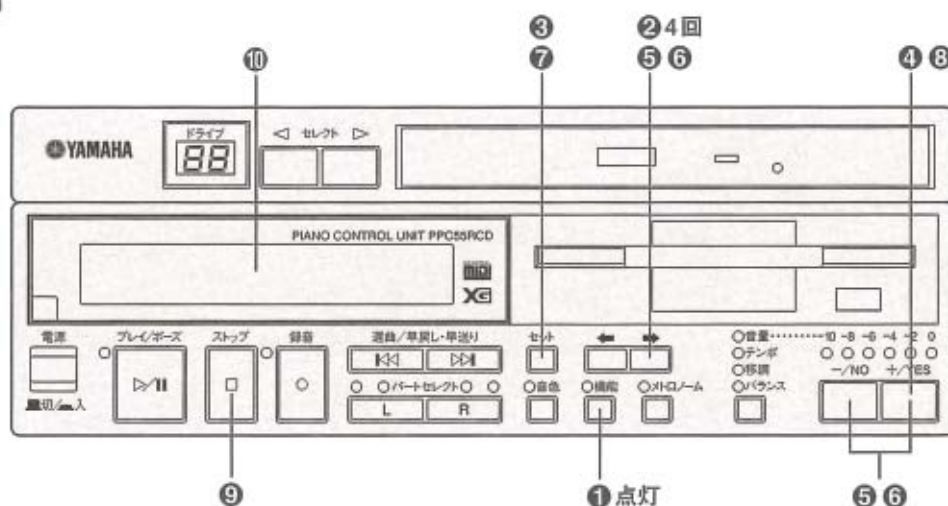
シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホ タンヲ オシテクタ サイ

- ⑨ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○ (00:00)→  
S0 XG

# トラックのデータを移調する

## ■トラック移調



- あるトラックのデータを移調する機能です。
- トラック移調の設定範囲は-60～+60です。1キー(半音)単位で調節できます(例えば+12で1オクターブ上がります)。
- トラック番号に「ALL」を指定すると、全てのトラックのデータが一斉に移調されます(リズムトラックは移調されません)。



- フロッピー内の曲の編集・保存中には、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはトラック移調できません(P15参照)。
- パソコンなどを使ってシステムエクスクルーシブ等の特殊な方法でリズムトラックを指定した場合、トラック番号に「ALL」を指定するとリズムトラックも移調される場合があります。



- 曲を選び、停止中に操作します。

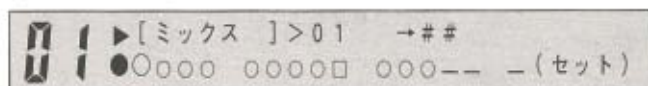
- ① [機能ボタン]を押します。



- ② [カーソルボタン<=>]を4回押して、下の画面を呼び出します。



- ③ 「▶トラック」と表示されていることを確認し、[セットボタン]を押します。



- ④ [＋／YESボタン]を4回押し、  
「▶[イチョウ]」と表示させます。

01 ▶[イチョウ] > 01 → ##  
●○○○ ○○○○□ ○○○— — (セット)

- ⑤ [カーソルボタン⇐⇒]を押して項目を移し、  
[－／NOボタン][＋／YESボタン]で移調するトラック  
を選びます。

01 [イチョウ] ▶ 0.5 00  
●○○○ ○○○○□ ○○○— — (セット)  
↑ ↑  
選択されたトラック

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]を押して項目を移し、  
[－／NOボタン][＋／YESボタン]で移調の値を設定  
します。

01 [イチョウ] > 0.5 ▶ +1.2  
●○○○ ○○○○□ ○○○— — (セット)  
↑  
移調する値(半音単位)

- ⑦ [セットボタン]を押します。

01 [イチョウ] > 0.5 +1.2 イイテ スカ?  
●○○○ ○○○○□ ○○○— — (Y/N)

- ⑧ トラック移調を実行する場合は[＋／YESボタン]を押  
します。  
トラック移調を実行しない場合は[－／NOボタン]を押  
した後、[ストップボタン]を2回押します。

シ ッ コ ウ チ ュ ウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加  
わります。

- ⑨ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

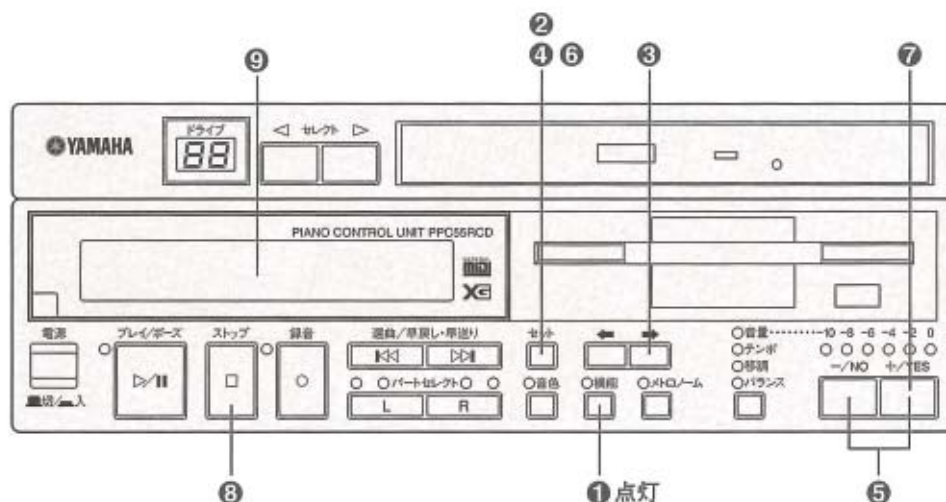
シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホ タンヲ オシテクタ サイ

- ⑩ 曲名表示画面になったら終了です。

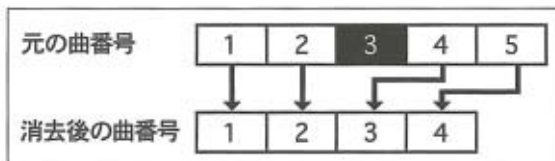
01 ○○○○○ (00:00) →  
S O X G

# いらない曲を消去する

## ■曲消去



- メモリディスクやフロッピーに録音されたいらない曲を、1曲単位または全曲一斉に消去する機能です。
  - あるメモリディスク内の全曲、フロッピー内の全曲を一斉に消去することもできます。
  - 消去するとその曲番号や曲名も演奏と一緒に消去されます。
- 《例:3曲目を消去》



※4曲目以降の曲番号は繰り上がって「元の曲番号-1」曲目となります。



- フロッピーの曲を消去する場合は、あらかじめフロッピーを入れておきます。
- 大事な演奏を誤って消さないためには、「タイトル入力」(P102)したり、フロッピーのプロテクトをオンにしておくことをおすすめします (P15参照)。



- 曲消去の実行中(⑦)は、途中で止めることはできません。その間にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーは曲消去できません (P15参照)。
- 操作を途中で終了したい時は、「機能ボタン」または「ストップボタン」を押します。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQディスクの曲を消去することはできません (メモリディスクにコピーした曲については可能です)。
- 任意の複数の曲を一度に消去することはできません。



- 消去したい曲が入っているメモリディスクを選ぶか (P31参照)、フロッピーを入れ、停止中に操作します。

### ① [機能ボタン]を押します。



### ② 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、[セットボタン]を押します。



### ③ [カーソルボタン⇐⇒]を押して、「▶キョク ショウキョ」と表示させます。





- ④ [セットボタン]を押します。

[キョク ショウキョ]	(-, +)
▶ 01 ○○○○○	(セット)

↑            ↑  
曲番号    曲名(曲名がない場合はファイル名)

- ⑤ [-/NOボタン][+/YESボタン]で消去したい曲を選びます。  
メモリディスク内またはフロッピー内の全曲を消去したい場合は、「▶スベテノ キョク」と表示させます。

[キョク ショウキョ]	(-, +)
▶ 03 ○○○○○	(セット)

[キョク ショウキョ]	(-, +)
▶ スベテノキョク	(セット)

- ⑥ [セットボタン]を押します。

[キョク ショウキョ]	イイテスカ?
03 ○○○○○	(Y/N)

- ⑦ [+ /YESボタン]を押すと曲が消去されます。  
曲消去をキャンセルする場合は[-/NOボタン]を押し、[ストップボタン]を押します。

シッコウチュウ
---------

※フロッピー内の曲を消去中は2行目に「ディスクワトリダサナイデ!」が表示されます。

- ⑧ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

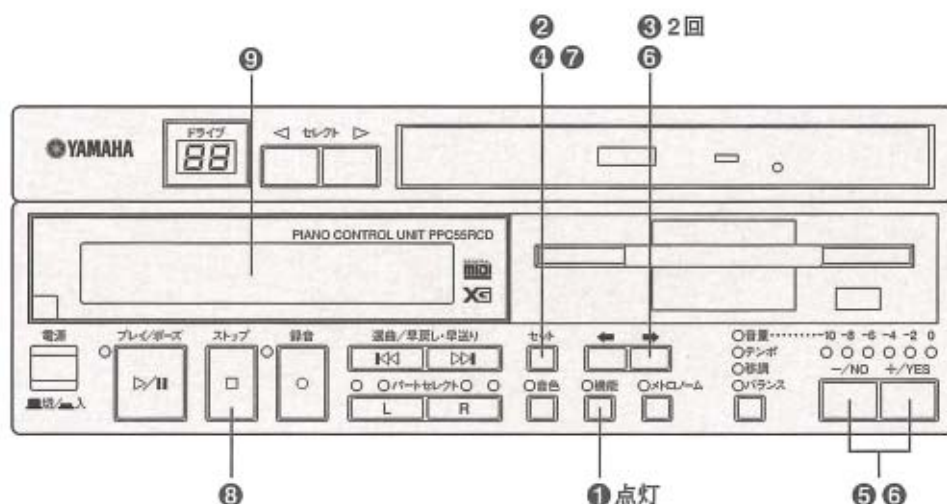
シュウリョウシマシタ ナニカ ホタンヲ オシテクタサイ
--------------------------------

- ⑨ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○○	(00:00)→
	S0 XG

# メモリスディスクの曲を複製する

## ■曲コピー



- メモリスディスク内の曲を、1曲単位または全曲一斉にコピーする機能です。
- 同じメモリスディスク／別のメモリスディスク／フロッピーのいずれかにコピーできます。
- コピーされた曲は、最後の曲番号になります。



- メモリスディスクの容量がいっぱいになりましたら、この曲コピー機能を利用してフロッピーに保存しておくことをおすすめします。
- 別のフロッピーにコピーする場合は、あらかじめフォーマット済みのフロッピー (P48 参照) をご用意ください。



- フロッピーに曲コピーを実行中(⑦)は、フロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはコピー先に指定できません (P15 参照)。
- E-SEQタイプのディスクに E-SEQ フォーマット以外の曲はコピーできません。
- メモリスディスク内に曲コピーした「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」など市販 E-SEQ ソフトの曲をさらにフロッピーに曲コピーすることはできません。
- 操作を途中で終了したい時は [機能ボタン] または [ストップボタン] を押します。

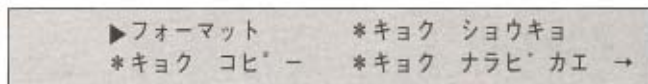


- コピーしたい曲が入っているメモリスディスクを選び (P31 参照)、停止中に操作します。

- 1 [機能ボタン] を押します。



- 2 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、[セットボタン] を押します。



- 3 [カーソルボタン ⇄] を 2 回押して、「▶キョク コピー」と表示させます。



- 4 [セットボタン] を押します。



- ⑤ [－/NOボタン][+/YESボタン]でコピーしたい曲を選びます。

メモリディスク内の全曲をコピーしたい場合は、  
「▶スベテノ キョク」を選びます。

[キョク コピー] →ホカノ ディスク  
▶ 03 ○○○○ (セット)

[キョク コピー] →ホカノ ディスク  
▶ スベテノ キョク (セット)

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]を押して「▶ホカノディスク」と表示させ、[－/NOボタン][+/YESボタン]でコピー先のディスクを選びます。

●フロッピーにコピーする場合＝「▶ホカノディスク」を選択。

●メモリディスクにコピーする場合＝「メモリ[0]」～「メモリ[F]」を選択。

コピー先  
↓  
[キョク コピー] →メモリ[9]  
▶ 03 ○○○○ (セット)

- ⑦ [セットボタン]を押します。

●コピー先にメモリディスクを選んだ場合  
下の画面になり、コピーが実行されます。

70 シッコウチュウ ■■■□□□□□□□

●コピー先にフロッピーを選んだ場合

画面に「コピーサキノディスクライレテクダサイ」と表示されますので、フロッピーを入れてください。フロッピーを入れると下の画面になり、コピーが実行されます。

70 シッコウチュウ ■■■□□□□□□□  
ディスク ラ トリタ サナイテ !

※コピーの実行中、曲番号表示部とディスプレイにコピー残量が表示されます。図では残量＝70% (「00」で終了です)。

- ⑧ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

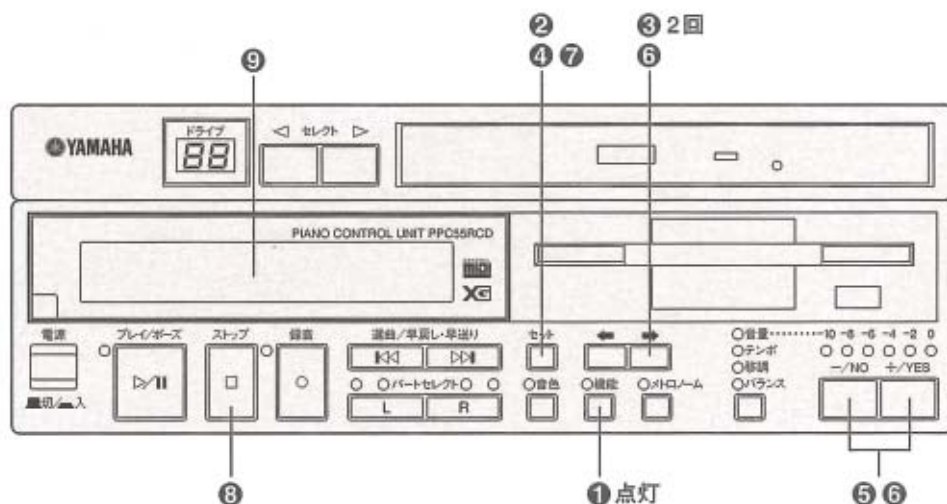
シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホタンヲ オシテクダサイ

- ⑨ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○ (00:00)→  
S0 GM

# フロッピーの曲を複製する

## ■曲コピー



- フロッピー内の曲を、1曲単位または全曲一斉にコピーする機能です。
- 同じフロッピー／別のフロッピー／メモリディスク (0～9、A～F) のいずれかにコピーできます。
- コピーされた曲は、最後の曲番号になります。



- あらかじめコピーしたい曲が入っているフロッピーを入れてから操作します。
- 別のフロッピーにコピーしたい場合は、あらかじめフォーマット済みのフロッピー (P48 参照) をもう1枚ご用意ください。



- フロッピーに曲コピーを実行中 (⑦) は、フロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはコピー先に指定できません (P15 参照)。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトの曲は、メモリディスクにコピーすることはできませんが、別のフロッピーへコピーすることはできません。
- E-SEQタイプのディスクにE-SEQフォーマット以外の曲はコピーできません。
- 操作を途中で終了したい時は [機能ボタン] または [ストップボタン] を押します。



- コピーしたい曲が入っているフロッピーを挿入し、停止中に操作します。

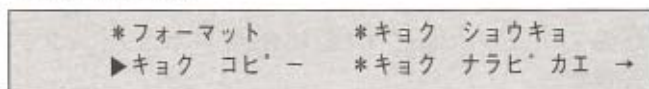
- ① ドライブインジケータに「Fd」(フロッピードライブ)と表示されているのを確認して、[機能ボタン]を押します。



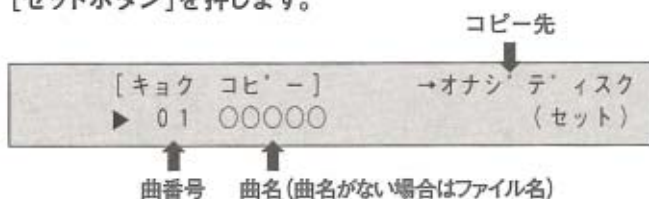
- ② 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、[セットボタン]を押します。



- ③ [カーソルボタン ⇐⇒] を2回押して、「▶キョク コピー」と表示させます。



- ④ [セットボタン]を押します。





- ⑤ [－/NOボタン][+/YESボタン]でコピーしたい曲を選びます。

フロッピー内の全曲をコピーしたい場合は、  
「▶スベテノ キョク」を選びます。

[キョク コピー] →オナジディスク  
▶ 03 ○○○○○ (セット)

[キョク コピー] →オナジディスク  
▶ スベテノ キョク (セット)

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]を押して「▶オナジディスク」と表示させ、[－/NOボタン][+/YESボタン]でコピー先のディスクを選びます。

●同じフロッピーにコピーする場合＝「▶オナジディスク」を選択。

●別のフロッピーにコピーする場合＝「▶ホカノディスク」を選択。

●メモリディスクにコピーする場合＝「メモリ[0]」～「メモリ[F]」を選択。

[キョク コピー] ▶ホカノディスク  
> 03 ○○○○○ (セット)

- ⑦ [セットボタン]を押します。

●コピー先に「メモリディスク」「オナジディスク」を選んだ場合

下の画面になり、コピーが実行されます。

70 シッコウチュウ ■■■□□□□□□  
ディスク ヲ トリタ サナイテ !

※コピーの実行中、曲番号表示部とディスプレイにコピー残量が表示されます。図では残量＝70%（「00」で終了です）。

●コピー先に「ホカノディスク」を選んだ場合

画面に「コピーサキノディスクヲイレテクダサイ」と表示されることがあります。その場合は挿入中のフロッピーを取り出し、別のフロッピーを入れてください。フロッピーを入れると下の画面になり、コピーが実行されます。

70 シッコウチュウ ■■■□□□□□□  
ディスク ヲ トリタ サナイテ !

コピー開始後、画面に「コピーモトノフロッピーヲイレテクダサイ」という表示が出ます。画面の指示に従って、コピー先のフロッピーとコピー元のフロッピーを入れ替えてください（コピーするデータ量が多いと入れ替え作業が何回か必要です。画面表示に従って操作をして下さい）。

- ⑧ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

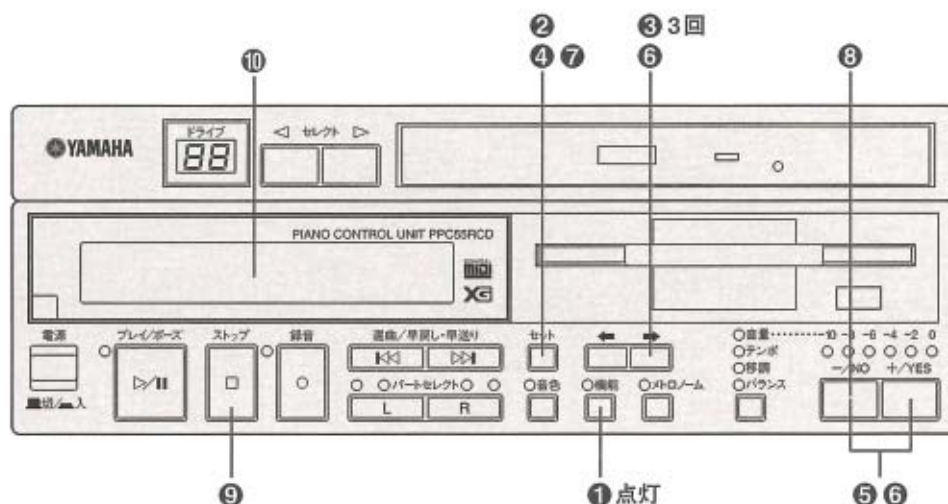
シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホタンヲ オシテクタ サイ

- ⑨ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○○ (00:00)→  
S0 GM

# 録音した曲を好きな順番に並び替える

## ■曲並び替え



●同じディスク内において、メモリディスクやフロッピーの中  
の曲順を、好きな順番に並び替える機能です。



- フロッピー内の曲順を並び替える場合は、あらかじめフロッピー  
を入れておきます。
- フロッピーが挿入されていない場合は、現在選ばれているメ  
モリディスク内の曲順を並び替えます。
- 「現在○番の曲を、変更後○番にするか」を1曲ずつ指定し  
ていきます。  
例えば下の表で、3番の「C」を1番にして並び替えを続行し、  
5番の「E」を4番にして終了させると、次のように並び替わり  
ます。

曲番号	1	2	3	4	5
並び替え前	A	B	C	D	E
並び替え後	C	A	B	E	D



- 曲並び替え実行中(⑨)にフロッピーを取り出したり電源を切  
ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対に  
しないでください。
- プロテクトがオンになったフロッピー (P15参照)、「ピアノソ  
フト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトは、曲を並  
び替えることができません (メモリディスクにコピーした曲に  
ついては可能です)。
- 変更後の曲番号は、重複して指定できないようになってい  
ます。
- 操作を途中で終了したい場合は [機能ボタン] または [スト  
ップボタン] を押します。

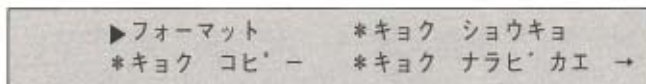


●メモリディスクを選ぶか (P31 参照)、  
フロッピーを入れて、停止中に操作します。

① [機能ボタン] を押します。



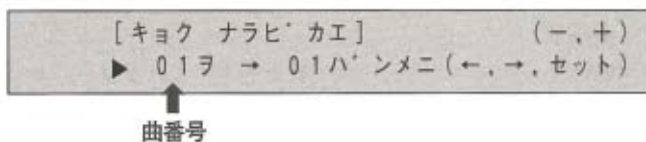
② 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、  
[セットボタン] を押します。



③ [カーソルボタン⇐⇒] を3回押して、「▶キョク ナラビ  
カエ」と表示させます。



④ [セットボタン] を押します。



曲番号

- ⑤ [-/NOボタン][+/YESボタン]で順番を変更したい曲番号を選びます。

[キョク ナラヒ カエ] (-, +)  
▶ 02ヲ → 01ハ'ンメニ (←, →, セット)

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]を押してカーソルを右に移動し、[-/NOボタン][+/YESボタン]で変更後の曲番号を指定します。

[キョク ナラヒ カエ] (-, +)  
> 02ヲ ▶ 05ハ'ンメニ (←, →, セット)

↑  
変更後の曲番号

- ⑦ [セットボタン]を押すと1曲目の並び替えの設定が終わり、下の画面が表示されます。  
並び替えの作業を続ける場合は、[+/YESボタン]を押し、④～⑦の操作を繰り返します。

点減

ナラヒ カエヲ ツツ'ケマスカ?  
02ヲ ▶ 05 (YES, NO)

- ⑧ 並び替えの作業を終わる場合は[-/NOボタン]を押します。並び替えが実行されます。

シ'ッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクワトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- ⑨ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ  
ナニカ ホ'タンヲ オシテクタ'サイ

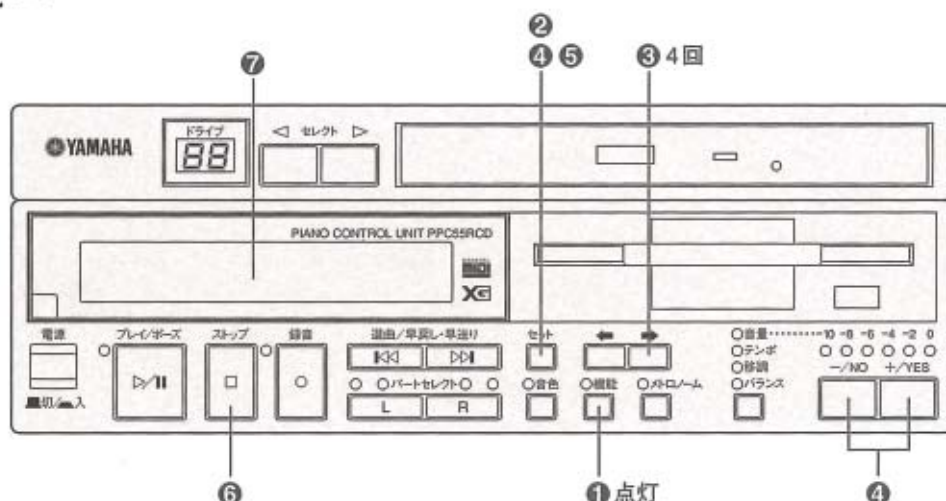
- ⑩ 曲名表示画面になったら終了です。

01 ○○○○ (00:00)→  
S O G M



# 1 個のメモリディスク全体をコピーする

## ■ディスクコピー



- 1 個のメモリディスク内の全曲を、別のメモリディスクやフロッピーにまるごとコピーする「ディスクコピー」機能です。
- 「曲コピー」で「スベテノキョク」を指定した場合はコピー先のディスクの曲は消去されませんが、「ディスクコピー」ではコピー先のディスクの曲は全て消去されます。
- ディスクコピーは、コピー元のデータ容量が多いとかなり時間がかかる場合があります。目的に応じて、曲単位での「曲コピー」(P118)を行ってください。



- メモリディスクに記録した大切な曲を、フロッピーにバックアップをとる時などに便利です。
- コピー先が新しいフロッピーである場合は、フォーマットしてから行います (P48)。



- 同じメモリディスクにディスクコピーすることはできません。
- プロテクトがオンになったフロッピーにはディスクコピーできません (P15 参照)。
- コピー先のディスクの内容はすべて消去されます。コピー先のディスクにデータが入っている場合、⑤の操作中に画面に「テンソウサキノキョクヲショウキョシマス/イデスカ?」と表示されますので、消して良い場合は「+ / YES ボタン」、取り止める場合は「- / NO ボタン」を押してください。
- ディスクコピーを開始すると途中でキャンセルできません。
- ディスクコピー実行中(⑤)にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- コピー先のフロッピーが指定したものと異なると、⑤の操作中に「コピーサキノディスクガチガイマス/2DD(2HD)ディスクタイレテクダサイ」と画面に表示されます。指定したタイプ(2DD/2HD)のフロッピーを入れ直してください。間違っただけで指定し、キャンセルしたい場合は「ストップボタン」を押します。
- ディスクが一杯になった時は、「ディスクガイッバイニナリマシタ/ナニカボタンヲオシテクダサイ」と表示されます。
- メモリディスクにコピーした「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」など市販 E-SEQ ソフトを、さらにフロッピーにディスクコピーすることはできません。
- 操作を途中で終了したい時は「機能ボタン」または「ストップボタン」を押します。



- ディスクコピーしたいメモリディスクを選び (P31 参照)、停止中に操作します。

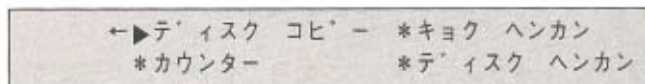
### ① 「機能ボタン」を押します。



### ② 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、「セットボタン」を押します。



### ③ 「カーソルボタン」を 4 回押して、「▶ディスク コピー」と表示させます。





- ④ [セットボタン]を押して下の画面を呼び出し、  
[－/NOボタン][+/YESボタン]でコピー先のディスクを指定します。



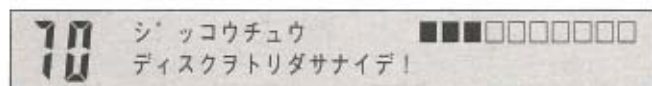
- 2HDフロッピーにコピーする場合＝「2HD」を選択。
- 2DDフロッピーにコピーする場合＝「2DD」を選択。
- メモリディスクにコピーする場合＝「メモリ[0]」～「メモリ[F]」を選択。

- ⑤ [セットボタン]を押します。

●コピー先に「メモリディスク」を選んだ場合

コピー先のメモリディスクにデータがある場合は、画面に「テンソウサキノキョクヲショウキョシマス/イデスカ?」と表示されます。ディスクコピーを実行する場合は[+/YESボタン]を押します。

下の画面になり、コピーが実行されます。

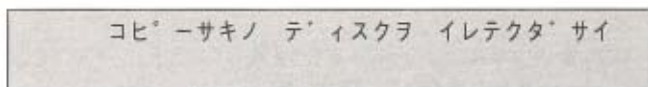


※コピーの実行中、曲番号表示部とディスプレイにコピー残量が表示されます。図では残量＝70%('70'で終了です)。

●コピー先に「2HD」「2DD」を選んだ場合

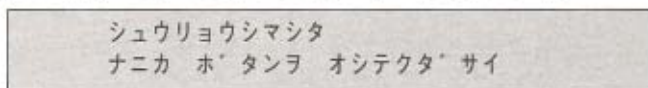
画面に下のような表示がでます。

フロッピーを入れると下の画面になり、コピーが実行されます。



コピーするデータ量が多いとフロッピーの入れ替え作業が何回か必要です。画面表示に従って操作をして下さい。

- ⑥ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。

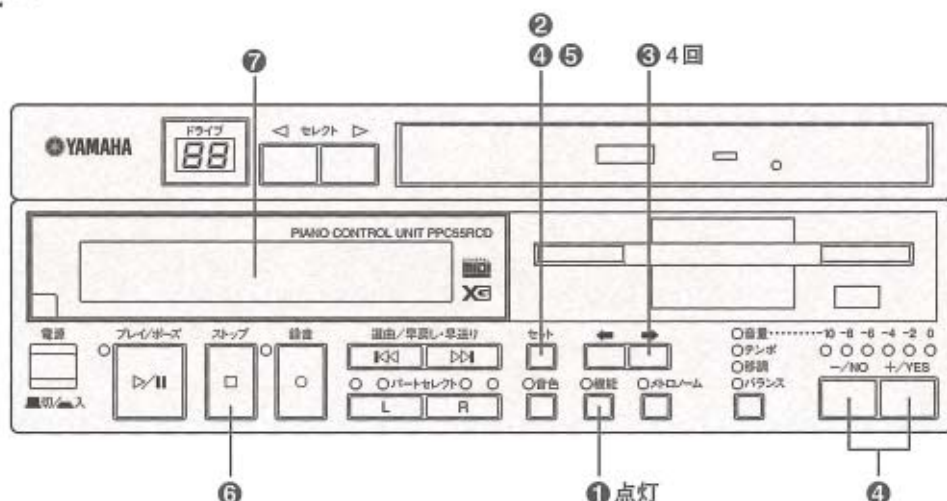


- ⑦ 曲名表示画面になったら終了です。



# フロッピー全体をコピーする

## ■ディスクコピー



- フロッピー内の全曲を、別のフロッピーやメモリディスクにまるごとコピーする「ディスクコピー」機能です。
- 「曲コピー」で「スベテノキョク」を指定した場合はコピー先のディスクの曲は消去されませんが、「ディスクコピー」ではコピー先のディスクの曲は全て消去されます。
- ディスクコピーは、コピー元のデータ容量が多いとかなり時間がかかる場合があります。目的に応じて、曲単位での「曲コピー」(P120)を行ってください。



- 同じ内容のフロッピーをもう1枚つくり、バックアップをとっておきたい場合などに便利です。
- コピー先が新しいフロッピーである場合は、フォーマットしてから行います (P48)。



- プロテクトがオンになったフロッピーにはディスクコピーできません (P15参照)。
- コピー元のフロッピーのプロテクトがオンになっていないと「コピーモノディスクハショウキョウボウシラシテタサイ」と表示が出ます。一旦フロッピーを取り出し、プロテクトをオンにしてから (P15参照) 入れ直して下さい。
- コピー先のディスクの内容はすべて消去されます。コピー先のディスクにデータが入っている場合、⑤の操作中に画面に「テンソウサキノキョウラショウキョウシマス/イイデスカ?」と表示されますので、消して良い場合は「+ / YES ボタン」、取り止める場合は「- / NO ボタン」を押してください。
- ディスクコピーを開始すると途中でキャンセルできません。
- ディスクコピー実行中 (⑤) にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- コピー先のフロッピーが指定したものと異なると、⑤の操作中に「コピーサキノディスクガチガイマス/2DD (2HD) ディスクタイレテタサイ」と画面に表示されます。指定したタイプ (2DD / 2HD) のフロッピーを入れ直してください。間違えて指定し、キャンセルしたい場合は「ストップボタン」を押します。
- ディスクが一杯になった時は、「ディスクガイッパイニナリマシタ/ナニカボタンヲオシテタサイ」と表示されます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトは、フロッピーにディスクコピーすることはできません。メモリディスクにはコピーできます。
- 操作を途中で終了したい時は「機能ボタン」または「ストップボタン」を押します。



- ディスクコピーしたいフロッピーを挿入後、停止中に操作します。

- ① 「機能ボタン」を押します。

▶ ディスク      \* MIDI Setup →  
\* M-Tune      \* サイレント

- ② 「▶ ディスク」と表示されていることを確認し、  
「セットボタン」を押します。

▶ フォーマット      \* キョク ショウキョ  
\* キョク コビ\*      \* キョク ナラビ\* カエ →

- ③ 「カーソルボタン」を4回押して、「▶ ディスク コピー」と表示させます。

← ▶ ディスク コビ\*      \* キョク ヘンカン  
\* カウンター      \* ディスク ヘンカン

- ④ 「セットボタン」を押して下の画面を呼び出し、  
「- / NO ボタン」「+ / YES ボタン」でコピー先のディスクを指定します。

[ ディスク コビ\* ]  
2HD      → メモリ [ 1 ]      (セット)  
↑      ↑  
コピー元      コピー先

- 2HDフロッピーにコピーする場合＝「2HD」を選択。
- 2DDフロッピーにコピーする場合＝「2DD」を選択。
- メモリディスクにコピーする場合＝「メモリ [0]」～「メモリ [F]」を選択。

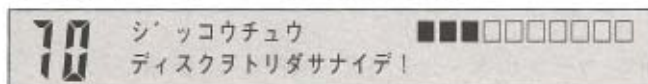
※2HDフロッピーから2DDフロッピーにコピーする場合は、データ量にご注意ください。フロッピー全体をコピーできない場合もあります。

⑤ [セットボタン]を押します。

●コピー先に「メモリディスク」を選んだ場合

コピー先のメモリディスクにデータがある場合は、画面に「テンソウサキノキョクヲショウキョシマス／イイデスカ?」と表示されます。ディスクコピーを実行する場合は[十／YESボタン]を押します。

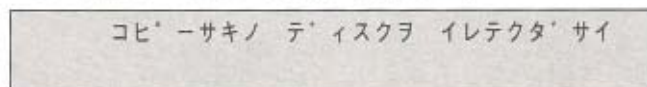
下の画面になり、コピーが実行されます。



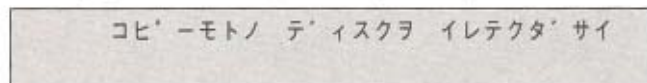
※コピーの実行中、曲番号表示部とディスプレイにコピー残量が表示されます。図では残量=70%('70'で終了です)。

●コピー先に「2HD」「2DD」を選んだ場合

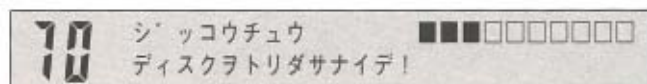
画面に下の表示が出ますので、コピー先のフロッピーを入れてください。



しばらくすると画面に下の表示が出ますので、コピー元のフロッピーを入れてください。

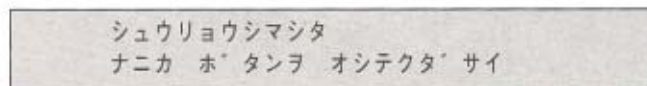


しばらくすると画面に下の表示が出ます。コピー先のフロッピーを入れると下の画面になり、コピーが実行されます。



コピーするデータ量が多いとフロッピーの入れ替え作業が何回か必要です。画面表示に従って操作をして下さい。

⑥ 次の表示になったら[ストップボタン]を押します。



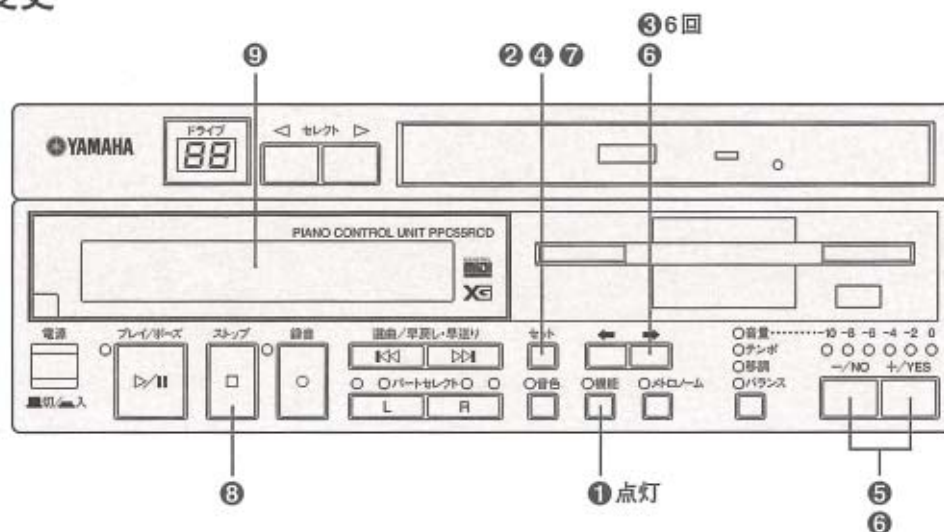
⑦ 曲名表示画面になったら終了です。





# 曲の録音タイプ(メトロノーム録音↔時間録音)を変更する

## ■カウンター変更



●曲ごとに、録音タイプを変更する機能です。メトロノーム録音した曲を時間録音にしたり、時間録音した曲をメトロノーム録音にすることができます。



- カウンター変更実行中(⑦)にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになったフロッピーに入っている曲は、カウンター変更できません(P15参照)。
- 操作を途中で終了したい時は、もう1度[機能ボタン](または[ストップボタン])を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトのカウンター変更は行えません(メモリディスクにコピーした曲については可能です)。

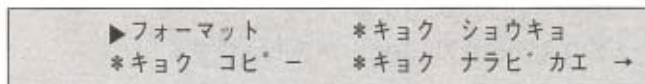


●メモリディスクを選ぶか(P31参照)、フロッピーを入れて、停止中に操作します。

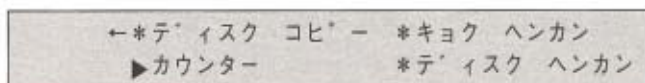
① [機能ボタン]を押します。



② 「▶ディスク」と表示されていることを確認して[セットボタン]を押します。



③ [カーソルボタン⇐⇒]を6回押して「▶カウンター」と表示させます。





- ④ [セットボタン]を押します。

[カウンター	ヘンコウ]	(-, +)
▶ 01	→ シ	カン (←, →, セット)

↑                      ↑  
曲番号              変更後の録音タイプ

- ⑤ [-/NOボタン][+/YESボタン]で変換する曲を選びます。

[カウンター	ヘンコウ]	(-, +)
▶ 05	→ シ	カン (←, →, セット)

- ⑥ [カーソルボタン⇐⇒]でカーソルを移動し、[-/NOボタン][+/YESボタン]で変更後の録音タイプを選びます。

[カウンター	ヘンコウ]	(-, +)
> 05	▶ メ	トロノーム (←, →, セット)

↑                      ↑  
曲番号              変更後の録音タイプ

- ⑦ [セットボタン]を押すとカウンター変更開始。

シ	ッ	コウ	チュウ
---	---	----	-----

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- ⑧ 次の表示になったら、[ストップボタン]を押します。

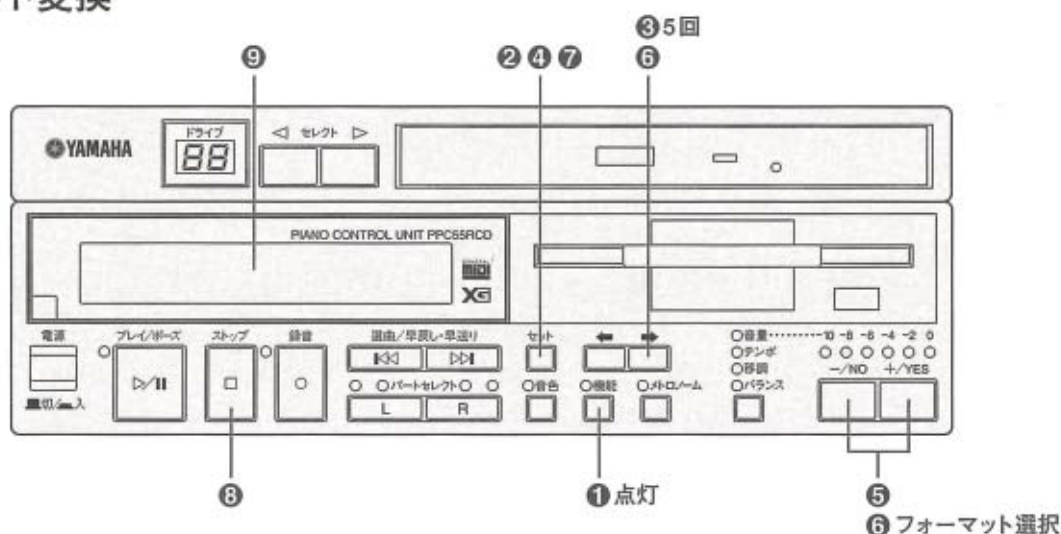
シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ タンヲ オシテクタ サイ

- ⑨ 曲名表示に変わったら終了です。

05	PIANO	○○○.MID	(000-0)→
			SO GM

# 曲のフォーマット (SMF ↔ E-SEQ) を変更する

## ■曲フォーマット変換



- 同じディスク内において、1曲単位で「曲フォーマット」を変換する機能です (フォーマットについてはP21参照)。
- ディスク内の全曲のフォーマットを変換したい時は、ディスクタイプ変換 (P132参照) すると便利です。
- 変換された曲は新曲となり、最後の曲番号になります (変換前の曲はそのまま残ります)。

- フロッピー内の曲の曲フォーマットを変換する場合は、フロッピーを挿入しておいてから操作を開始します。挿入されていない場合は、メモリーディスク内の曲が変換の対象になります。
- ⑥で変換後の曲フォーマットを選択します。右ページの3種類の間で変換が可能です。

- **E-SEQ Type Diskにフォーマットされたフロッピーディスクでは、E-SEQ曲からSMF曲への「曲フォーマット変換」はできません。「ディスクタイプ変換」(P132参照)を行ってください。**
- 曲フォーマット変換実行中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーは曲フォーマット変換できません (P15参照)。
- タイトルをつけていない曲では、仮の名前がセットされていますが、曲フォーマット変換を行うと、末尾の3文字が次のように変更されます。

変換前	変換後(ファイル名)
E-SEQ (○○○.FIL) →	SMF0 (○○○.MID)、SMF1 (○○○.MID)
SMF0 (○○○.MID) →	E-SEQ (○○○.FIL)、SMF1 (○○○.MID)
SMF1 (○○○.MID) →	E-SEQ (○○○.FIL)、SMF0 (○○○.MID)

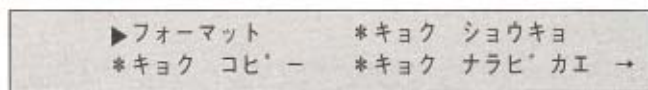
- 曲フォーマット変換は新しい曲を作成することになるため、元からあったファイル名との重複を避けるために変換後のファイル名を変更する場合があります (同一のファイル名はディスク内に混在できません)。
- 操作を途中で終了したい時は、もう1度「機能ボタン」(または「ストップボタン」)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトの曲フォーマットを変換することはできません。

- メモリーディスクを選ぶか (P31参照)、フロッピーを入れて、停止中に操作します。

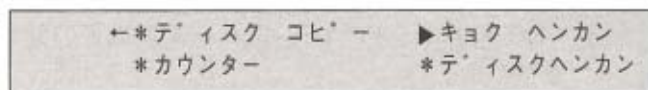
- 1 「機能ボタン」を押します。



- 2 「▶ディスク」と表示されていることを確認して「セットボタン」を押します。



- 3 「カーソルボタン」を5回押して「▶キョク ヘンカン」と表示させます。



E-SEQ	サイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤ等で 使用されるヤマハ独自のフォーマット。 従来機種との互換のために使います。
SMF0	スタンダードMIDIファイル・フォーマット0 ほとんどのスタンダードMIDIファイル対応機器で使用できる 互換性の高いフォーマットです。本機での標準フォーマット。
SMF1	スタンダードMIDIファイル・フォーマット1 パソコン等のシーケンスソフトで編集用途に多く用いられる フォーマットです。

(※ P21 参照)

④ [セットボタン]を押します。

[キョク	ヘンカン]	(セット)
▶ 01	PIANO	0000.MID→E-SEQ
↑	↑	↑
曲番号	ファイル名	変換後の ファイルフォーマット

⑤ [－/NOボタン][＋/YESボタン]で変換する曲を選びます。

[キョク	ヘンカン]	(セット)
▶ 05	PIANO	0000.MID→E-SEQ

⑥ [カーソルボタン⇐⇒]でカーソルを移動し、  
[－/NOボタン][＋/YESボタン]で変換後のフォーマットを選びます。

[キョク	ヘンカン]	(セット)
> 05	PIANO	0000.MID▶E-SEQ

⑦ [セットボタン]を押すとフォーマット変換開始。

シ` ッコウチュウ
-----------

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加  
わります。

⑧ 次の表示になったら、[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ` タンヲ オシテクタ` サイ

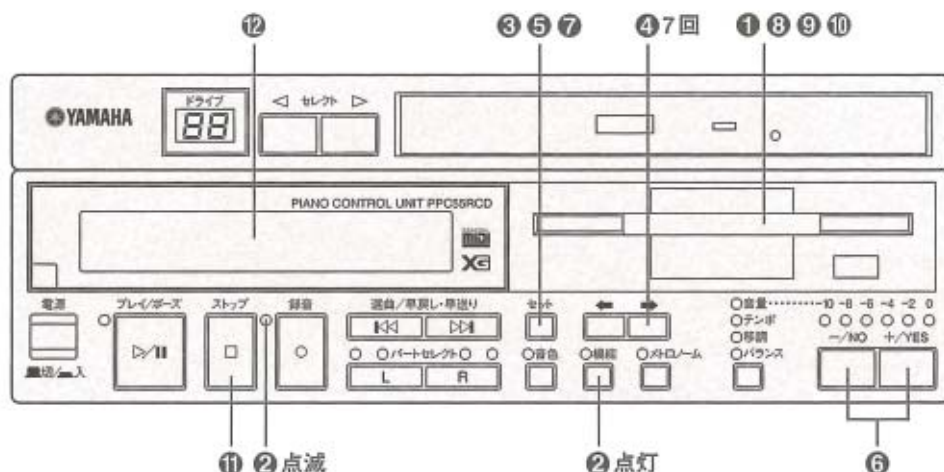
⑨ 曲名表示に変わったら終了です。

05	PIANO	0000.FIL	(00:00)→
			SO ES



# フロッピーのタイプ(E-SEQ ↔ SMF)を変更して別のフロッピーにコピーする

## ■ディスクタイプ変換



- 従来機種との互換をとるためなどに、フロッピーのディスクタイプを変換して、別のフロッピーにコピーする機能です。
- SMFタイプ ↔ E-SEQタイプの変換が行えます(ディスクタイプについてはP21参照)。
- ディスクタイプ変換は、変換元のデータ容量が多いとかなり時間がかかる場合があります。ディスク全体を変換する必要のない場合は、曲単位での「曲フォーマット変換」(P130)を行ってください。



- 「E-SEQ (MX)」への変換は、変換先フロッピーとして必ず2DDタイプを使います。また、変換元のデータが多いと、フロッピーが2枚必要になることがあります。次のような表示が出たらフロッピーを入れ換えてください。

モウイチマイ ディスクカ ヒツヨウデ ス  
ヘンカン サキノ ディスクヲ イレテクタ サイ

- SMFタイプをE-SEQ (MX)タイプに変換すると、ピアノパートはすべてTr.1およびTr.2になります。
- コピー先が新しいフロッピーである場合は、フォーマットしてから行います (P48参照)。



- ①で変換元のフロッピーのプロテクトがオンになっていないと次の表示が出ます。一旦フロッピーを取り出し、プロテクトをオンにしてから (P15参照) 入れ直して下さい。

ヘンカンモトノ ディスクハ  
ショウキヨホ ウシヲ シテクタ サイ

- 変換先フロッピーはプロテクトオフで使います。プロテクトがオンでは使用できません (P15参照)。
- ⑩で変換をスタートすると途中でキャンセルすることはできません。また、ディスクタイプ変換実行中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- 変換先のフロッピーにあったデータは全て失われます。
- 操作を途中で終了したい時は、もう1度「機能ボタン」(または「ストップボタン」)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販E-SEQソフトのディスクタイプ変換は行えません。



- 停止中に操作します。

- ① 変換元のフロッピーを入れます。

- ② 「機能ボタン」を押します。

▶ ディスク \*MIDI Setup →  
\*M-Tune \*サイレント

- ③ 「▶ディスク」と表示されていることを確認して「セットボタン」を押します。

▶ フォーマット \*キョク ショウキョ  
\*キョク コヒー \*キョク ナラヒ カエ →

- ④ 「カーソルボタン」を7回押して「▶ディスク ヘンカン」と表示させます。

← \*ディ スク コヒー \*キョク ヘンカン  
\*カウンター ▶ディ スク ヘンカン

- ⑤ 「セットボタン」を押します。

[ディ スク ヘンカン] (ー, +)  
E-SEQ → SMF Type (セット)

現在のタイプ 変更後のタイプ

変換元のディスクタイプ	変換後のディスクタイプ
E-SEQ	→ SMF Type
	→ E-SEQ (MX)
SMF	→ E-SEQ Type
	→ E-SEQ (MX)

(※ P21 参照)

※ E-SEQ (MX): ピアノプレーヤ MX シリーズ用のディスクタイプです。

- ⑥ [－/NO ボタン][+/YES ボタン]で変換後のタイプを選びます。

[デ ィ ス ク    ヘ ン カ ン]                      (－, +)  
E-SEQ → E-SEQ (MX)                      (セ ッ ト)

- ⑦ [セットボタン]を押します。

ヘ ン カ ン サ キ ノ    デ ィ ス ク ヲ    イ レ テ ク タ ー サ イ

- ⑧ 変換元のフロッピーを取り出し、変換先のフロッピーを入れます。

ヘ ン カ ン モ ト ノ    デ ィ ス ク ヲ    イ レ テ ク タ ー サ イ

- ⑨ 変換先のフロッピーを一旦取り出し、もう一度変換元のフロッピーを入れます。

ヘ ン カ ン サ キ ノ    デ ィ ス ク ヲ    イ レ テ ク タ ー サ イ

※コピーするデータ量が多いとフロッピーの入れ替え作業が何回か必要です。画面表示に従って操作して下さい。  
※2HDフロッピーから2DDフロッピーにコピーする場合、変換元のデータ量が多いとフロッピーが2枚必要になることがあります。

- ⑩ 変換先のフロッピーをもう一度入れると変換開始。

70 シ ャ ッ コ ウ チ ュ                      ■■■■■■■■■■  
デ ィ ス ク ヲ ト リ ダ サ ナ イ デ !

※曲番号表示部とディスプレイに変換残量が表示されます。図では、残量が70%。「00」(ディスプレイは全て■)で変換終了。

コピー開始後、画面に「ヘンカンモノフロッピーヲイレテクダサイ」という表示が出ます。画面の指示に従って、変換先のフロッピーと変換元のフロッピーを入れ替えてください。

ヘ ン カ ン モ ト ノ    デ ィ ス ク ヲ    イ レ テ ク タ ー サ イ

データ量が多いとフロッピーの入れ替え作業が何回か必要です。画面表示に従って操作してください。

- ⑪ 次の表示になったら、[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ  
ナニカ   ホ ー   タ ン    オ シ テ ク タ ー   サ イ

- ⑫ 曲名表示に変わったら終了です。

01 PIANO000.FIL                      (00:00) →  
ES GM